

MB11 BERAフォンは消耗電極が不要です。

かつ、迅速なスクリーニングが可能です。

特徴

1. 消耗品（電極）不要

従来の自動ABR測定では、ディスポの電極とイヤカップラーが必要でした。MAICOは開発段階から独自の発想と技術により、電極とカップラーの一体化に成功しました。更に電極は滅菌が可能で消耗品電極等のディスポコスト削減に貢献します。



2. 迅速測定

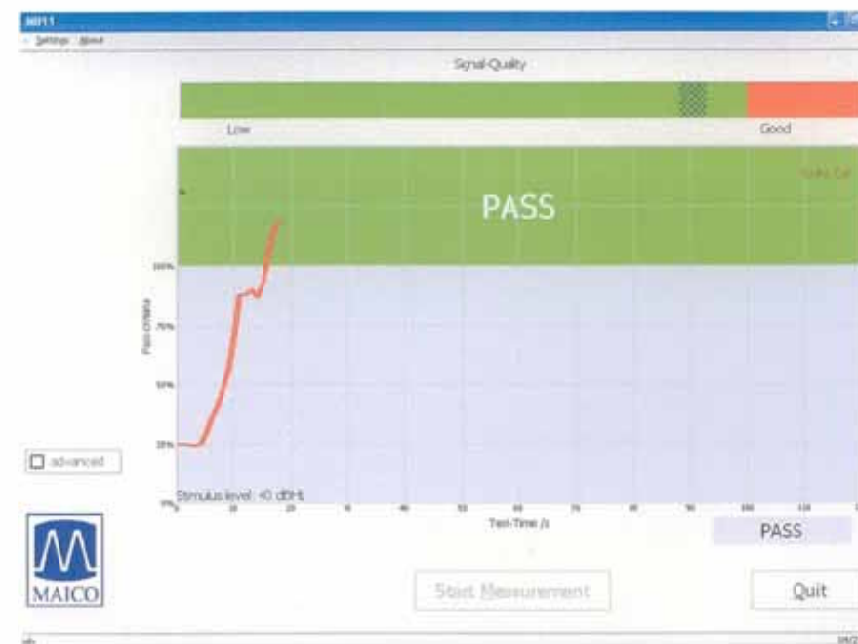
MB11のBERAフォンは独自のアルゴリズムを採用、93回/秒のクリック刺激により片耳最短20秒と迅速に測定することができます。

(測定環境条件により時間が延びることがあります。)

3. 閾値検査も可能 (Time Step Stimulus)

音圧の異なる6つの刺激音を同時に与え、ABRの第V波がどの音圧まで出現するかを同時に検査することができます。

(従来のスタンダードABR機能も搭載しています。)



■ 測定結果

PASS

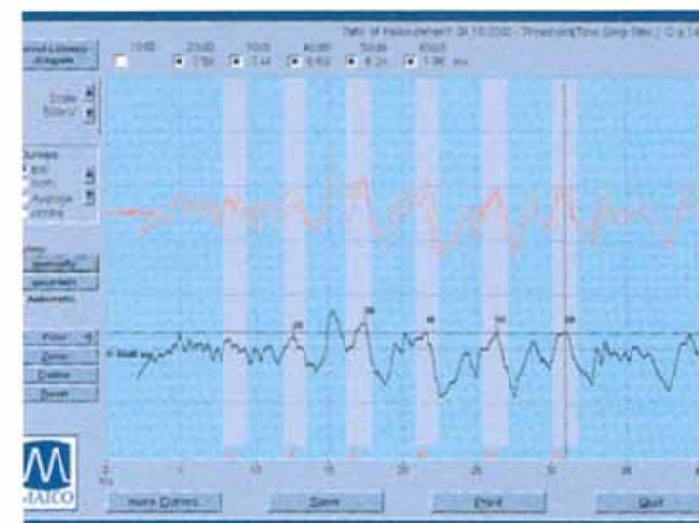
測定結果のカーブが上部のPASSエリアに入ると結果がPASSと表示されます。

REFER

最長120秒間測定します。測定カーブがPASSエリアに届かないときはREFERと表示されます。

■ 測定時間

最短20秒で片耳の測定が可能です。



Time Step Stimulusの測定結果画面

Time Step Stimulusの機能にてスクリーニング検査のみならず閾値検査が迅速に行えます。



MB11 BERAフォンはノートパソコンとUSB接続して使用します。

BERAフォンは専用ケースに入っており携帯に便利です。

BERAフォンの電極が当たる3ヶ所にジェルを塗ります。

BERAフォンの電極部にもジェルを垂らします。

- コンパクト設計
- ディスポ電極不要
- 迅速検査
- 独自のアルゴリズムにより高い Sensitivity 及び Specificity を示します。
- 簡便操作